

れんごう中越地協

第818号2014.4.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



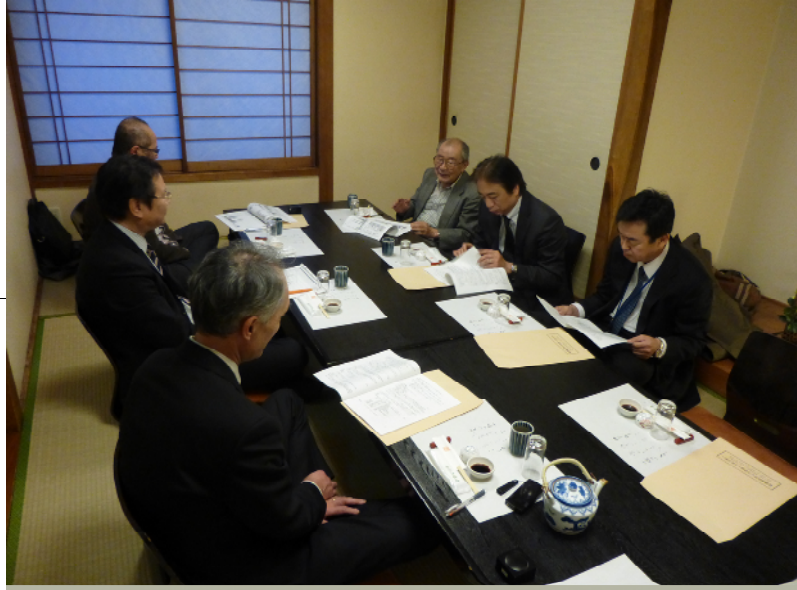
ながおかライフサポートセンター

四役会議で事業実績を審議

相談件数が減少傾向でも8割は7課題に集中

ながおかライフサポートセンター(以下LSC)の四役会議が、3月28日(金)17時30分から長岡市内で開催された。会議では、13年度の事業実績と決算見込みが報告されたほか、新潟県労働者福祉協議会(以下県労協)の労協協ビジョン策定委員会の状況等が報告された。

ながおかLSC四役の消費増税などで暮らしが豊かにならない状況下におかれている。



そのような社会状況にLSCでフォローが必要と思う。労協協運動の活性化や存在価値を高める動きには、気持ちを切り替えしっかりと対応していきたい。等の挨拶を述べた。

早速、3月20日現在の事業実績が事務局から報告された。その主なものを紹介すると次のようになる。

年間相談件数は384件と昨年比▲16.6%減少となった。これは、相談窓口が多くなったことやパーソナルサポートセンターとの棲み分けが影響しているのではないかと想定される。

相談傾向は、「このころの問題」「家庭問題」「消費生活」「労働相談」「離婚・男女問題」「人間関係」「就職」の7課題で全体の8割を占めている。毎月第2と第4木曜日に開催している「心と身体を守るセルフケア」事業は、平均利用



14春季生活闘争 闘争委員会・連合新潟第5回執行委員会

連合新潟は、14春季生活闘争拡大闘争委員会(連合新潟第5回執行委員会)を3月28日(金)午後10時に開いた。齋藤会長は委員会では回答状況に「昨年と比較して100円程度、賃上げ分

0円程度、賃上げ分1230円程増加しているが、中小・地場は交渉の真っ最中だ。しっかりと交渉し積み上げてほしい」と挨拶を述べた。

報告事項として事務局から活動報告があり確認された。

また、相談に至る媒体は、新聞折り込みを含めた年間13300

14春季生活闘争当面の取り組みが協議となり、各産別からの状況報告を含めて確認された。

また、「STOP THE格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーン全国総行動計画

2014春季生活闘争勝利に向け、多くの組合員が待ち望んでいた賃金アップ。結果は大小あるものの、日本経済が長いデフレ状態から脱却する大きな要因ともいえる大事な春闘でありました。▼政府、安倍首相も春闘は労使自治が基本であることは知りつつも、日本の景気を底上げするために経済団体へ働き掛けする

第85回メーデー中越地協内開催一覧

地区	とき	会場
長岡	5月1日(木) 9:45	アオーレ長岡
見附	4月30日(水)18:30	中央公民館
小千谷	4月27日(日)10:00	サンラックおぢや
北魚沼	5月1日(木) 9:30	小出郷体育館
南魚沼	4月29日(火) 9:00	南魚沼市民会館
十日町	4月27日(日) 9:30	十日町市民体育館

止のため、4月から個人署名を取り組むことが決定した。続く確認事項では、「連合・東北子ども応援わんぱくプロジェクト」について、連合北

が、私の会社でも承知の上です。新潟で50人の新規採用があり、全員の組合加入をしていただく環境など多少の影響もあるのか、採用に当たり「おめでとうございませ」と声をかけると笑顔と元気な声が返るなど、私自身晴ればれとした清々しい気持ちになりました。▼組合員のみならず、新採の人達も「先輩組合員の姿を見て学ぶ」ことでしよう。「人間を大事にする気持ち」「前を向き進む気持ち」などを、運動の楽しさを実感させるように運動会へ参加の働きかけをお願いいたします。



副議長 火山健悟

があることも承知の上です。新潟で50人の新規採用があり、全員の組合加入をしていただく環境など多少の影響もあるのか、採用に当たり「おめでとうございませ」と声をかけると笑顔と元気な声が返るなど、私自身晴ればれとした清々しい気持ちになりました。▼組合員のみならず、新採の人達も「先輩組合員の姿を見て学ぶ」ことでしよう。「人間を大事にする気持ち」「前を向き進む気持ち」などを、運動の楽しさを実感させるように運動会へ参加の働きかけをお願いいたします。

サラリーマン川柳(父の場所出かけた後は犬の場所)(新手帳最初に見るは連休日)(貧乏も遺伝したのか我が家系)(喫煙所同じ時間に同じ顔)

サラリーマン川柳 (ガンリン苦一円安ではしごする) (我が家ではずっと妻が裁判員)

(会議より会議のあとで意見でる) (中高年「あれ」「これ」「それ」で会話する)

5月1日に「フードドライブ」を行います。ご協力ください!

- フードドライブとは：家庭にある食料（缶詰やレトルト食品などの保存食品）を募り、食料を必要としている福祉施設や生活困窮者支援団体等に寄付をする為の活動です
- 回収場所：長岡地区メーデーデモ行進の各集合場所、アオーレ長岡「アリーナ」入口に回収コーナーを設置してあります。且印はフードバンクののぼりです
- 回収の協力：①未開封の食品 ②産地が特定できる品(米) ③賞味期限が最低2か月以上ある食品 ④常温保管が可能なもの

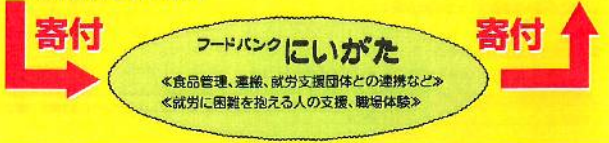
「もったいない!」から「ありがとう」

「もったいない」から「ありがとう」へ
フードバンクにいがた



- ✓まだ食べられるにも関わらず捨てられている食品がある
- ✓米どころ新潟でも、ご飯を食べられない方がいる

フードバンクは、この状況がなくなることを目標に、もったいない食べ物を必要な方に届ける活動です。



食品の寄付、運営協力、各種ご相談は「フードバンクにいがた」までお気軽にご連絡ください。
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館4階
電話:025-384-4466 fax:025-384-8224 E-mail:fbn@roukyou.gr.jp

連合十日町支部だより

3月11日(火)、連合十日町支部2014春季生活闘争総決起集会を開催しました。

当日は、諸橋連合新潟副事務局長を講師にお招きし、今期の春闘方針についての説明や情勢などについてお話しいただきました。

また、構成単組からの春闘状況の報告を受けましたが、いぜんとして厳しい状況にあることが分かり、当地域の経済状況改善はいまだ道半ばのようです。



最後は、厳しいからといってあきらめず最後まで戦い抜くことを誓い、団結ガンバローで会を締めました。



私の提言

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて

募集

具体的な提言も待っています!



応募締切 2014年8月18日(月)必着

応募資格 どなたでも応募できます。

- 優秀賞 表彰盾と副賞 20万円
- 佳作賞 表彰盾と副賞 10万円
- 奨励賞 表彰盾と副賞 3万円



募集内容は、全国のあらゆる産業で働く675万人の仲間が結ぶ労働組合のアナログセンター(中央会館)すべての働く人たちのために、費用と労力とできる限り取組を並べています。

ILEC 公益社団法人 教育文化協会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

私の提言

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて

募集

連合は、初代事務局長である故・山田精吉氏の遺志を受け創設された「山田精吉顕彰会の論文募集」事業を継承し、2004年から「私の提言 連合論文募集」をおこなってきました。第11回目の募集となる今回も、連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる提言を広く募集します。皆さんからの提言を活かしながら、労働運動をさらに前進させたいと考えています。

<p>1 募集内容</p> <p>(1)連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる具体的な提言をお寄せください。</p> <p>(2)提言はオリジナルで未発表のものに限ります。 (新編、雑誌、書籍、報告書などに発表されたものは応募できません) ※過去の応募論文のテーマや入賞者については、教育文化協会のホームページの「文化事業-私の提言」欄に掲載しております。</p>	<p>5 執筆経歴や連絡先など</p> <p>(1)別紙に、下記の点を明記してください。 ①氏名、現職(所属、役職名、学生の場合は学校名・学年など)、 略歴(100字以内) ②住所、電話番号、Eメールなどの連絡先 ③「私の提言」募集を知った媒体(教育文化協会のホームページ、チラシなど) (2)応募の際にいただいた個人情報、提言募集以外での目的には一切使用いたしません。入賞提言は、「入賞提言集」および教育文化協会のホームページに掲載させていただきます。その場合、応募提言および氏名、現職、略歴のみを公表いたします。</p>
<p>2 応募の対象と方法</p> <p>(1)どなたでも応募できます。 (組合員、組合役員、組合OBに限らず、学生の方など、どなたからの応募も歓迎いたします)</p> <p>(2)応募は電子媒体(E-Mail)を原則とします。</p>	<p>6 応募締切</p> <p>2014年8月18日(月)必着</p>
<p>3 表彰</p> <p>(1)選考：第11回「私の提言-働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて」運営委員会で審査します。</p> <p>(2)表彰： 優秀賞 表彰盾と副賞 20万円 佳作賞 表彰盾と副賞 10万円 奨励賞 表彰盾と副賞 3万円 ※連合第6回中央委員会(2014年10月2日)で表彰予定 ※応募者には、もちろん記念品を贈呈(除く、入賞者)</p>	<p>7 発表</p> <p>2014年9月19日(金)予定 ※教育文化協会ホームページにて発表し、拙った入賞提言を全文掲載いたします。</p>
<p>4 書き方</p> <p>(1)表紙 提言内容が分かる具体的な表紙を必ずつけてください。</p> <p>(2)本文 ①用紙はA4判とし、横書きで縦向きに用紙にしてください。 ②字の大きさは11ポイント、1行は全角40字1ページ35行としてください。 ③余白(マージン)は上下各25mm、左右各27mmとし、ページ番号を中央下に付けてください。 ④字数は、「6,000~8,000字程度」を目途に、「上限10,000字」とします。(本文の最後に概ね何字かを記入してください。図表も字数に換算、出典の注記は、字数から除いてください) (3)図表・参考文献 ①図表の下に出所を必ず明記してください。 ②他の文献から引用する場合は、引用箇所にかぎ括弧をつけ、通し番号を記し、最後に一括して出典を注記してください。</p>	<p>8 受付・問い合わせ先</p> <p>■公益社団法人 教育文化協会 第11回「私の提言-働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて-」募集係 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1階 電話 03-5295-5421 FAX 03-5295-5422 URL http://www.rengo-ilec.or.jp/ E-Mail info-ilec@ebu.jtuc.rengo.or.jp</p>